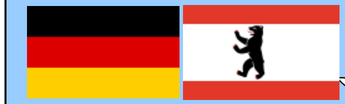
GERMANY_ BERLIN

ドイツ・ベルリン_歴史的建築物・ペン水彩画

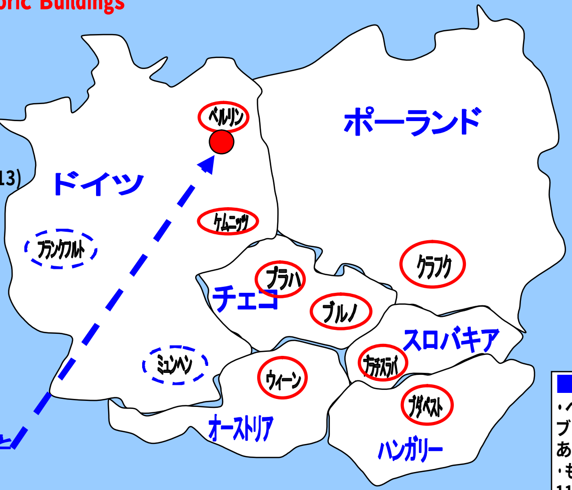
作成者：岩崎君男/Mr.Kimio Iwazaki
Date:March 2014
Numazu-City
Shizuoka-pref. JAPAN
URL:http://www.iwazaki-kimio.com

Germany _ Berlin / Historic Buildings

ドイツ・ベルリン



・面積：892km2、人口：3,407,614人(2013)



基本情報の出所：ウイキペディア(Wikiedia)

http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%96%E3%83%A9%E3%83%B3%E3%83%87%E3%83%B3%E3%83%96%E3%83%AB%E3%82%AF%E9%96%80

http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%99%E3%83%AB%E3%83%AA%E3%83%B3%E5%A4%A7%E8%81%96%E5%A0%82

■ブランデンブルク門：Brandenburg Gate

・ブランデンブルク門（独: Brandenburger Tor）はドイツ・ベルリンのシンボルとされている門である。正面部はパリ広場の東に面しており、ミッテ区に属している。高さは26m、幅は65.5m、奥行きは11mの、砂岩でできた古典主義様式の門である。

・ベルリンはかつて星型要塞に囲まれた城郭都市だったが、市街地の要塞外への拡大と軍事的価値の減少に伴い、1734年にプロイセン王フリードリヒ・ヴィルヘルム1世は要塞の廃止を命じた。その代わりに市街地全体を大きく取り囲むようにベルリン税関壁が設けられた。

ベルリンから各地に向かう街道と壁が交差するところには、14か所（のちに18か所に増える）の関税門が設けられ、それぞれ「ハンブルク門」「シレジア門」「ポツダム門」「アンハルト門」などと呼ばれ、ブランデンブルク門も関税門のひとつであった。どの門も、街道の先にある都市や地方の名前が門の名前になっており、ブランデンブルク門の場合はホーエンツォレルン家（ブランデンブルク辺境伯から、プロイセンの地を得てプロイセン王国の王、ドイツ帝国の皇帝となった）がベルリンに遷都するまで、ブランデンブルク辺境伯国の首都だったブランデンブルクに通ずる道を扼する役割を担っていた。1868年に税関壁の取り壊しとともに門も多くが姿を消していく中、ブランデンブルク門は残された。現在、城壁や都城の門は跡形もなくなったが、ベルリンには『～Tor（門）』という地名はそこかしこに残されている。

■ベルリン大聖堂：Berlin Cathedral

・ベルリン大聖堂（ベルリンだいせいどう、ドイツ語: Berliner Dom）は、ベルリンのミッテ区にあるホーエンツォレルン王家の記念教会で、ベルリン＝ブランデンブルク＝シュレージシェ・オーバーラウジッツ福音主義教会に属し、ルター派の礼拝をおこなっている大聖堂である。ひときわ目を引くドームが印象的な建物である。

・もともとの教会がヴィルヘルム2世の命令によって1905年に建て替えられ、現在の姿となった。王家ゆかりの人々の墓碑などがある。

114mの高さを誇る天蓋は第二次世界大戦で被害を受けたが、1993年に修復され現在の姿を取り戻した。270段の階段を昇って天蓋部分へ出ることもできる。

ブランデンブルク門を裏側より描いています。(Burandenburg Gate)

ベルリン大聖堂を描いています。(Berlin Cathedral)